

「学習の友」学習会

静岡県労働者学習協会静岡支部

ニュース

2025.12.12 No.159

「対話と学びあいの約束ごと」

これからの組合運動に大切なキーワードです!!

学ぶことは生きること

学習の友 12 2025
No. 888

特集 みんなで賃上げ交渉！
——レイバーカレッジから26春闘へ——

レバカレ2025 主体参加がつくった「熱気と連帯」
——たまたま労働運動を始めた人々へ—— 黒澤幸一
賃上げに労働組合が果たしてきた歴史的役割 伊藤大一
労働組合は魔法のツール——仲間をまき込み、声を上げる 塩森真由美
地域のクリニックと大学病院で協力的に組織化 田中直光、塩森真由美
阪神間ユニオンによるキャンペーン協賛体交渉の展開 吉田雅典
東京公務員共闘一戦／新青一戦みらるる分會／生協分連
堀江タカノ改進黨立内閣の危機感——高市早稲組閣後どうあるか 五十嵐 仁
安保体制の強化と「戦争する自衛隊」への賛成——憲法をまもることの意義 小沢隆一



今回は12月号です。

特集記事の2点を読み合わせしました。1つは「レバカレ2025 主体参加がつくった『熱気と連帯』」（黒澤幸一全労連事務局長）。もう1つは、「労働組合は魔法のツール——仲間をまき込み、声を上げる」（塩森真由美愛知自治体一般大府分会長インタビュー記事）です。

「レバカレ・・・」は、全労連が主催した、今年10月11日～13日に開催された労働運動交流集会（Labor Union College）の様子を伝えた記事です。参加者が700人超えで、3日間で70の分科会と3つの全体会で構成させたとのこと。集会の教訓として3つをあげます。一つは、参加者が主体となって能動的に作り上げた集会であった。二つは、「対話・学びあい」の重要性が浮き彫りになった集会であった。三つは、「対話と

学びあいの約束ごと」というグランドルールを確認してはじめられたことで、参加者の対話を大いに促進したことです。ここで得られた教訓を、日常の労働運動に生かしていくこと、26国民春闘で実践に移していきたいと決意を述べます。

塩森氏のインタビュー記事は、愛知県の大府市の保育園に働く氏が、労働組合のない市役所・保育園の職場で、会計年度任用職員制度の導入のなかで、賃金を中心に労働条件の切

全労連 2025年8月15日
月15日発行
レバカレ特集号外

労働運動交流集会2025



参加者がつくる70の分科会が決定！
「対話と学びあい」で
実践交流する3日間

変化を起こしている仲間の成功事例に学び、あ

次回学習会は次のとおりです。26年1月号を持って
お気軽にご参加ください。

日時 26年1月14日（水）18：30～

場所 国労小会議室

今回は第二水曜日となります。お間違いなく。



静岡県労働者学習協会のブログをご覧ください。 <http://shizuokagakou.sub.jp/www/>

仲間とつながる頑張り なぜ出来たの？
「労働組合は魔法のツール」

り下げが行われました。そこで市議会議員の公開メールアドレスに、その資料をつくり送信したところ共産党市議だけが返信があり、そこで紹介されたのが自治労連愛知県本部でした。そして、「仲間を増やさない」との助言で、LINE を繋ぎ「絶対許せない」熱量のある人 20 人で「MDZ の会」を立ち上げます。「もうだまされないぞ」が名前の由来。そうして共産党議員の議会での一般質問で、この問題を取り上げたのをきっかけに組合を立ち上げます。こうして当局と交渉を重ねていき、一定の労働条件の改善も実現させていきます。「労働組合は魔法のツール」と印象を語りますが、個人では通用しないことも、組合で要望書をだすと秘書人事課が対応しちゃんと話しをきいてくれる、そして要求を勝ち取ることもできる。育休後の時短勤務などの制度があるのに、正規職員も知らないため、大府市職員へのアンケート活動をやり、圧力もあるなかで 85 件を集めます。そして時短勤務の需要がないと思っていた当局も、対応するように変わっていきます。組合のない正規労働者は物が言えない状態なので、正規労働者の要求もとりあげ交渉をしているということで



学習の友12月号より

学習会 「対話と学びあいの約束ごと」(案)

私たちは、今回の学習会の参加者の安全が保たれ、安心して対話と学びあいを深められる場となるよう、以下「対話と学びあいの約束ごと」に基づいて、集会参加し、ともに労働運動の新たなステージへ第1歩を踏み出します！

1. 私たちは、平等・対等な関係性です。
2. 私たちは、異なる多様な背景・価値観を持つ者同士、お互いを尊重します。
年齢や性別、見た目や国籍等について、“さん”付けで呼び合うようお願いします。
3. 私たちは、差別的な発言・行動、ハラスメントや暴力、妨害行為をしません。
4. 私たちは、安心して参加できるよう心理的安全性¹を大切に、コミュニケーションをとります。
他の人が話したい気持ちも大切に、話せる雰囲気づくりをみんなでつくります。
5. 私たちは、個人のプライバシー（私生活に関する質問、年齢・学歴・宗教・性自認・性的指向・障害・政治的意見等）について立ち入ることを、しません。
プライバシー・個人情報に配慮して、写真・動画撮影には注意します。
6. もし誰かが不快な気持ちをしているのではないかと気づいた場合は、見逃すのではなく、立ち止まってもとに考え、問題解決に努めます。
7. もし話すことに疲れたり、居心地が悪いと感じた場合は、無理せず、席を外して休んでも大丈夫です。

また「付ておぼけ合う」年上の人下の人をいふ時、呼び勝てることと「若い」と呼ぶこと、男性が女性を呼ぶ時、「へーん」と呼ぶことがあがるが、呼び勝てれば個は、本当にその性を快活動した行動になるのでしょうか。世代間・性別間のハラスメントの要因になったり、相手の意思を無視した行動になったりしていないのでしょうか。今集めたのは、「約歳ごと」の1下、「まじ」で統一し、お互いの平等・対等な関係性を尊重しましょう。

③ 心理的安全性：車直でできることが許されるという感覚、チームのメンバーが、車直に意見や疑問、懸念等を表明しても、罰せられず、仲間外れにされたりする心配がない状態。エイミー・C・エドモンドソン教授（ハーバード大学）が提唱した心理学用語。

す。討論では、まずレバカレ 2025「対話と学びあいの約束ごと」をみんなで読み合わせしました。そして次のような意見がありました。「レバカレでは労働相談の分科会に出たが、ワイワイと良かった。」「2/8の静岡地区労連学習会ではこれを読み合わせしたい。」「この約束ごとは参加者が知らなければいけない。」「2/8 学習会分散会のファシリテーター（司会進行者）もこの約束ごとを理解してやるとすごく良いと思う。」「そのために、

2026 年国民春闘白書

たたかう労働組合のバージョン・アップ

低賃金と物価高騰から生活守る大増賃上げ・底上げを

データブック

2026 年国民春闘白書

たたかう労働組合のバージョン・アップ

低賃金と物価高騰から生活守る大幅賃上げ・底上げを

データブック

全勞連・労働総研／編

【総論】2026 年国民春闘の焦点

香港公共圖書館委員會秘書局長 區澤幸

I 私たちをとりま

- II 賃金の底上げであらゆる賃金格差の縮小を
- III 安心して働き続けられる職場の確立をめざす

Ⅴ 憲法を生かし持続可能な社会の構築を

VI 主要企業の内部留保分析
VII 春闘基本統計（時系列、地域別、歴年の値上げ

「職場討議資料の作成や要求書の作成、学習会の
白書、最低賃金の答申類では全県で1000円超え

増え、「労使自治」を口実に労基法破壊が企まれて

金、労働時間、雇用のルール、中小・零細企業のデータを掲載。

2026年春闘の力強い味方！ 労働運動のみならず、市民・民主主義を支える運動など、各分野の政策立案者や関係者のみなさまへ。ぜひご活用ください。

〔A4判 80ページ、定価1100円（税10%、ISBN 978-4-8062-0000-0）〕

東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館5階

學	2026 年國民教育圖書
---	--------------

習	お名前、団体名、ご住所
---	-------------

の	
---	--

友

	社	
--	---	--

1000

1/25 に担当者会議を予定している。」などの話がありました。

塩森氏のインタビュー記事については「実際に話を聴くとすばらしい。元気で話し方もおもしろい。」「職員団体登録とは何だ。」「年に一度人事委員会に労組の登録をすることになっている。」「一般労組となっているが公務員か。」「会計年度任用職員となって、公務員の身分になったと思う。」「生涯学習センターなどは外部委託なので、公務員ではないが。」「静岡県の自治体も組合がないところがあるのか。」「掛川はないのでは。」「勤務先で組合書記の話があった。『組合は何もやらない』とあきれて前の書記さんが辞める。それで。」など、少し寂しい話もありました。